

齋賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< 2022年04月 >>

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

最近の記事

[\(04/11\)新型コロナワクチンの混合接種はミックス&マッチ](#)
[\(04/09\)ペットから飼い主への細菌感染](#)
[\(04/07\)HPV・子宮頸がんワクチン](#)
[\(04/04\)小児及び青年のオミクロン株に対するワクチン効果](#)
[\(04/04\)オミクロン株・BA-2のアジアにおける懸念](#)

最近のコメント

[モデルナワクチンのプスター効果・その2](#) by (02/04)
[5〜11歳のファイザーワクチン接種・その1](#) by (01/23)
[オミクロン株はバンデミックから季節性への始まりか?](#) by (01/11)
[オミクロン株は軽症?](#) by (01/08)
[血圧を上げる薬剤](#) by (12/12)

タグクラウド

カテゴリ

[小児科\(216\)](#)
[循環器\(239\)](#)
[消化器・PPI\(145\)](#)
[感染症・衛生\(267\)](#)
[糖尿病\(125\)](#)
[喘息・呼吸器・アレルギー\(96\)](#)
[インフルエンザ\(105\)](#)
[肝臓・肝炎\(61\)](#)
[薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導\(47\)](#)
[脳・神経・精神・睡眠障害\(46\)](#)
[整形外科・痛風・高尿酸血症\(31\)](#)
[ワクチン\(69\)](#)
[癌関係\(11\)](#)
[脂質異常\(28\)](#)
[甲状腺・副甲状腺\(19\)](#)
[婦人科\(9\)](#)
[泌尿器・腎臓・前立腺\(39\)](#)
[熱中症\(7\)](#)
[日記\(22\)](#)
[その他\(80\)](#)

過去ログ

[2022年04月\(6\)](#)
[2022年03月\(15\)](#)
[2022年02月\(14\)](#)
[2022年01月\(16\)](#)
[2021年12月\(14\)](#)
[2021年11月\(17\)](#)
[2021年10月\(17\)](#)
[2021年09月\(13\)](#)
[2021年08月\(16\)](#)
[2021年07月\(12\)](#)
[2021年06月\(16\)](#)
[2021年05月\(16\)](#)
[2021年04月\(14\)](#)
[2021年03月\(18\)](#)
[2021年02月\(19\)](#)
[2021年01月\(16\)](#)
[2020年12月\(17\)](#)
[2020年11月\(15\)](#)
[2020年10月\(17\)](#)
[2020年09月\(19\)](#)
[2020年08月\(14\)](#)
[2020年07月\(17\)](#)
[2020年06月\(14\)](#)
[2020年05月\(21\)](#)
[2020年04月\(18\)](#)
[2020年03月\(18\)](#)
[2020年02月\(18\)](#)
[2020年01月\(19\)](#)
[2019年12月\(14\)](#)
[2019年11月\(15\)](#)
[2019年10月\(18\)](#)
[2019年09月\(18\)](#)
[2019年08月\(14\)](#)
[2019年07月\(14\)](#)
[2019年06月\(16\)](#)
[2019年05月\(14\)](#)
[2019年04月\(18\)](#)
[2019年03月\(19\)](#)
[2019年02月\(19\)](#)
[2019年01月\(15\)](#)
[2018年12月\(16\)](#)
[2018年11月\(20\)](#)
[2018年10月\(20\)](#)
[2018年09月\(18\)](#)
[2018年08月\(24\)](#)
[2018年07月\(18\)](#)
[2018年06月\(18\)](#)
[2018年05月\(20\)](#)

[<< スタチン（脂質異常症治療薬）は高齢者に効果がない？ | TOP | インフルエンザは心筋梗塞を誘発する >>](#)

2018年01月30日

慢性腎疾患における高血圧治療の意義

慢性腎疾患における高血圧治療の意義

帝京；寺脇博之教授講演より



1月25日に五井グランドホテルで講演があったので、纏めてみました。

- 1) 血液透析患者の、その当日の早朝血圧が心血管疾患と関連していた。
- 2) 腹膜透析患者の心肥大は、早朝高血圧が深く関連していた。
- 3) 慢性腎疾患（CKD）に白衣高血圧はあまり関係なく、仮面高血圧や持続性高血圧が関連していた。
その際に降圧剤を服用しているかは問題でなく、早朝血圧がコントロールされているかがCKDの予後に関連していた。
- 4) 降圧剤を就寝前に服用する事は早朝高血圧の治療に効果があり、目付尿蛋白の抑制にもつながる。
その場合、夜間血圧の低下の心配はない。
(寺脇先生の説明では寝ている時は臥症であるから、就寝前での降圧剤の服用による血圧の変動の心配はなく、寧ろαブロッカー（カルデナリン）は日中の血圧変動があるので、就寝前の服用が大事な事。)
- 5) 利尿剤の服用では、ループ利尿剤は交感神経を刺激する事があり注意が必要。
一般的にはサイアザイド系を用いる。
ARBの服用に関して腎機能の悪化が稀にあり、注意が必要。
(上記に関しては最近NEJMに利尿剤の総説が載っております。私のブログをご参照ください。
2017-11-24)

私見)

本院でも血圧のコントロールが不良の場合には降圧剤の就寝前服用を指導していますが、全ての降圧剤の服用を就寝前とする傾向のようです。
本院でもその方向にシフトしていこうと思っています。

[寺脇教授の講演.pdf](#)

0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

【循環器の最新記事】

[血圧の強化療法は脳循環にとっても良好](#)
[脳卒中の残余リスクとしての中性脂肪・二次..](#)
[アスピリンの一次予防効果、高齢者](#)
[心不全にSGLT-2阻害薬は第一選択薬](#)
[降圧利尿剤は慢性腎臓病でも有効適応](#)

posted by 齋賀一 at 20:56 | [Comment\(0\)](#) | [循環器](#)

この記事へのコメント

[2018年04月\(19\)](#)
[2018年03月\(20\)](#)
以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

